

2022年6月17日

各位

三菱UFJ信託銀行株式会社

「第4回プラチナキャリア・アワード」への取り組みについて

三菱UFJ信託銀行株式会社(取締役社長 ^{ながしま いわお}長島 巖)は、未来共創イニシアティブ(株式会社三菱総合研究所が運営)とともに、株式会社東洋経済新報社の協力のもと、厚生労働省、株式会社東京証券取引所の後援を得て、「第4回プラチナキャリア・アワード」を企画いたしました。

「プラチナキャリア・アワード」とは

人生100年時代、年齢を問わず自己の成長や所属する企業の発展、ひいては社会課題解決を目指し、自律的に学び、経験を通じてスキルを磨き、得られたスキルを存分に活かして活躍していくキャリア(「プラチナキャリア」)が期待されています。

プラチナキャリア・アワードとは、社員のプラチナキャリア形成、発揮の環境を整備し、推進している企業を表彰するもので、2019年から実施しております。

今般、有識者による審査委員会(審査委員長 株式会社三菱総合研究所小宮山宏理事長)において、第4回プラチナキャリア・アワードの受賞企業が決定したことを受け、本日、表彰式および記念シンポジウムを開催いたします。詳しくは、以下の専用サイトをご覧ください。

<https://platinumcareer.mri.co.jp/> (三菱総合研究所のサイトになります)

人生100年時代を迎え、企業における70歳までの就業機会確保の努力義務化や、シニアの多様な働き方に合わせた年金制度の改正が行われました。一方、DXなどの技術革新への対応、その活用による経済成長のために「人への投資」の重要性が増しています。そのような変化のなか、若者からシニアまで年齢によらず多くの人が学びを深め、学び直しを行い、一人ひとりが多様に活躍できる企業社会の実現は、日本社会において喫緊の課題です。

三菱UFJ信託銀行では、プラチナキャリアの理念浸透を促す狙いで、ドイツ取引所傘下の指数提供会社STOXX社*と共同で日本株指数「iSTOXX MUTB Japan プラチナキャリア 150 インデックス」を開発しておりますが、「安心・豊かな社会」の実現にお役に立てるよう、今後もこのプラチナキャリアに関する取り組みを皆さまと一緒に幅広く推進してまいります。

* STOXX社の概要

- ・1997年設立のドイツ取引所(Deutsche Börse Group)傘下の指数開発・提供会社。
- ・2019年9月、ドイツ取引所が米国リスク分析モデル提供会社Axioma社を買収し設立されたQontigo社の一部。

以上